

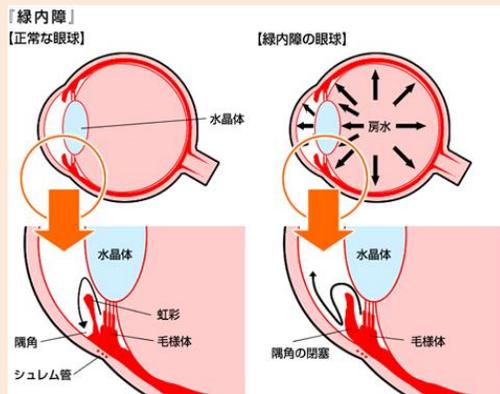
# Information\_11

## 緑内障のおはなし

視覚をつかさどる眼は、生活する上で非常に重要であり、なおかつ一度その機能が失われると回復が難しい器官です。今回はこの視覚に障害をもたらす病気「緑内障」のお話です。

### 緑内障とは？

眼球内には房水(ぼうすい)という液体が循環していて、その産生と流出のバランスが保たれることで眼球内部の圧(=眼圧)が維持されています。



緑内障は房水の流出が何らかの原因で阻害され、眼圧が上昇してしまう病気です。

房水の流出する部分は隅角(ぐうかく)といっています。



人間の場合、症状は徐々に進行しますが、犬では急激に症状が進行し48時間以内に失明する場合もある緊急疾患です。

### 原因

緑内障は原因によって、2タイプに分けられます

**原発性緑内障** 先天的・遺伝的に房水の出口が狭い形態異常がある

**続発性緑内障** 外傷、ぶどう膜炎、白内障、腫瘍など他の眼科疾患



### 症状と治療

発症からの時間で治療内容が変わってきます

<急性期>眼の強烈な痛み、流涙、目の充血、

目をこする、角膜が濁る

↳点眼、手術

<亜急性期>視力はまだある。

↳点眼、手術

<慢性期>眼球が大きくなる。頭や目の奥の痛み。視力の喪失。

↳痛みのコントロール、美容的外観を維持するための

点眼、手術 **※視力の回復は不可**

一刻も早く眼圧を下げる  
処置が必要！

緑内障は完治しない病です。できるだけ長く視力を維持すること、痛みを取る事が治療の目的となります。



### 定期的な検診を

病気全般に言えることですが、やはり早期発見・早期治療が肝心です。特に緑内障になりやすい犬種(柴犬、シーズー、アメリカンコッカースパニエルなど)は定期的に眼圧検査を受けましょう。基準値として、健康時の眼圧が分かっていると発症した時に参考になります。

また、眼に異常を感じたら早めに受診しましょう。

### スタッフより

緑内障の目の痛みは、人だと救急車を呼ぶほどだと言われます。特に犬の場合は発症から失明までが非常に早く、失われた視力は戻りません。

眼圧測定は数秒で簡単にできます。遺伝的になりやすい犬種の子では特に気にかけてあげたいですね。